

第1回 習志野市地域公共交通会議【議事録要旨】

日 時：平成24年7月19日（木）午前10時～午前11時30分

場 所：習志野市役所 本庁舎5階会議室

【会議次第】

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. 市長挨拶
4. 習志野市地域公共交通会議設置要綱について
5. 議 題
 - (1) 会長・副会長の選出
 - (2) 会議の役割
 - (3) これまでの取組みと進め方
 - (4) 地域公共交通の現状と課題地区の整理
 - (5) 新たな地域公共交通の基本的な考え方
 - (6) 各地区における検討方針
6. その他
7. 閉 会

【委員の出欠状況】

出席委員

榛澤委員 花崎委員 小川委員 土屋委員 関口委員 吉田委員 鹿田委員 海老原委員
富谷委員 池田委員 鈴木委員 諏訪委員 福島委員 若林委員

欠席委員（代理出席）

木下委員（会沢氏） 小宮山委員（松本氏）

【討議要旨】

発言内容	結論及び事務局からの説明
(1) 会長長・副会長の選出	
【委員】 ・ 会長は習志野市コミュニティバス検討委員会において委員長を務め、習志野市の公共交通に関する知識が豊富である榛澤芳雄委員を推薦する。	・ 全会一致で、会長として榛澤芳雄委員を選出した。
【委員】 ・ 副会長は、連合町会長として、まちづくりに取り組んでいる富谷委員を推薦する。	・ 全会一致で、副会長として富谷委員を選出した。
(2) 会議の役割 (3) これまでの取組みと進め方 (4) 地域公共交通の現状と課題地区の整理 (5) 新たな地域公共交通の基本的な考え方 (6) 各地区における検討方針	
■課題地区の設定について	
【委員】 ・ 平成 22 年度実施の市民意識調査において香澄・芝園地区が公共交通の不便地区となっているが、今回検討から外した理由は何か。	【事務局】 ・ 香澄地区は、すでにコミュニティバスを導入した地域であり、今後はコミュニティバス等の運行を見直し検討していく地域である。芝園地区は定住人口のない地域であることから、今回の検討地域から外した。
■計画検討におけるアンケート結果の反映について	
【委員】 ・ 東習志野、実籾地域のアンケート結果を受けて今後検討を進めると思うが、アンケート結果に依存し過ぎないように注意が必要。 ・ コミュニティバスの運行に際して、アンケートに基づいた施設を取り込んだルートを作ったがあまり利用されなかった。 ・ 利用者は、自分のニーズに合わないと、本数が多くても不便と考える。	【事務局】 ・ コミュニティバスのフォローアップ調査も行っており、アンケート調査を参考にルート等を検討する。
【委員】 ・ アンケート調査は大切なことであるが、地域の住民にはさまざまな意見を持った人がいる。アンケート調査の結果のみでルートは決定しないでいただきたい。	【事務局】 ・ 平成 23 年度に実施したアンケート結果から読み取れる外出の主な理由として買い物と、済生会病院への通院である。しかし利用頻度をみると、通院に関しては毎日ではないことが分かっているので、こうした結果を考慮したルートの選定に当たりたい。

発言内容	結論及び事務局からの説明
■目標達成に向けた検討方針について	
<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料9ページの東習志野、実籾地域のこれまでの検討経緯において、「目標達成には至らず本格運行を見送った」とあるが、ここでいう目標とは何か。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標とは、運行経費の2分の1を運賃収入で賄う乗車人数。
<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料10ページ「目標達成に向けた検討を行う」とあるが、ここでの「目標」とは。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地区を解消すること。
<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「①新たな地域公共交通の導入を検討」と「②まちづくりとの整合を図り、路線バス等の再編について交通事業者と協議を行いつつ、必要に応じ新たな地域公共交通の導入を検討」とあるが、①だけで良いのではないか。 2つある場合は、地区を入れた方が分かりやすいのでは。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①については、本公共交通会議で運行計画を検討していくということです。 ②については、現在、区画整理が行われている、あるいは都市計画道路の建設を進めている地域があります。これらの整備等が完了した時点で、公共交通事業者と協議を行うということです。そして、協議を行っても解消されない場合は、新たな公共交通の導入を検討していくものです。 ①が実籾・東習志野地区、②が谷津地区、花咲地区です。 対象となる地区がわかるような表現とします。
■アンケート調査の実施について	
<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実籾・東習志野地区は全世帯を対象としたアンケートを実施したが、今後実施予定の谷津地区、花咲地区は3,000人抽出とある。手法を変える理由は。 地域公共交通に関心を持ってもらうためには全世帯配布が良いのではないか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実籾・東習志野地区は、コミュニティバス復活等の要望が多く、町会からアンケート実施に協力する申し出があったことから、町会の協力を得て行った。 谷津地区、花咲地区は交通不便地域であるものの、市民意識調査の結果からは交通不便と考えていない人もいることから、無作為抽出で行う。
■総括	
<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の資料に基づき、今後検討を進めることで良いか。 ○地域公共交通の現状と課題地区の整理 ○新たな地域公共交通の基本的な考え方 ○各地区における検討方針 	<ul style="list-style-type: none"> 全会一致で、検討を進めることとの了解を得る。

以上